

令和5年度よりん彩活動支援事業補助金事業

報告書

これからの日本の性に関する学びに向けて

1. 調査期間 2023年 12月 ～ 2024年 3月

2. 調査対象者 性に関する学びに関心ある県民

3. 調査目的

- 1) 0歳からの段階的な性教育についてどのように教育されているか現状を知る
- 2) 被害防止だけでなく、加害や傍観側に立たないための性教育
- 3) 教員の学ぶ場、学校へ外部からの講師を受入れての性教育
上記についての現状を知り課題を明らかにする

4. 調査方法

(1) 専門家による講演

性教育の第一人者で包括的性教育、国際ガイダンスなどにも関わる立教大学名誉教授 浅井春夫氏の講演

(2) 実際に学校でどのような性教育が行われているのか、調査

実践報告 2例

- ① 鳥取県立岩美高等学校での文科省モデル事業をされた高橋唯先生の報告
- ② 中学校の体育教諭で地域での性教育を実践する黒坂美紗子さんの報告

5. アンケート調査

上記講演会、実践報告会に参加した人に調査

6. まとめ（アンケート内容は別紙資料参照）

アンケートを通して以下の点をまとめました。

1) 教育のあり方について

- ・性教育はいのち、人権だとゆうこと。
- ・ジェンダー、LGBTQ+についての教育が現在どのように、どのレベルで行われているか。
- ・「本当の同意」とは何かについて
- ・発達特性のある子どもへの性教育の難しさを伝える工夫
- ・子どもの発達、年齢にあわせた性教育
- ・学校における性教育について、事例、ガイドラインなど
- ・「性教育」と言う言葉をさけて「生命の安全教育」という言葉を使っているのに内容は「性」についてのことしかないのでおかしく思った。「生命」とは「性」なのだろうか？言葉が雑に使われていると思う。

・特に実践報告が活動・内容が素晴らしく報告はよく伝わった。黒坂さんの個“性”を大切にすることが性教育の言葉にすごく納得！

・性教育はバッシングと戦ってきた歴史があること、性教育はそもそも難しいことであること、性教育は真剣に取り組むことが大切なこと、浅井先生が我々の背中には若者・子どもたちがいてからだの権利・侵害によって傷つくことがないように社会づくりが必要というような言葉に共感した

・我が子と関わる上で性教育をタブー視しがちな環境で育ってきたので方法が分からないという思いがきっかけで性教育に興味を持ち始めました。

・プライベートパーツは4か所に限らず体はプライベートパーツの集合だということダメなタッチ、いいタッチの他、はてなタッチがあること…本日のお話で新たな意識として認識しました。

・性教育への思いが強いあまり、浅い知識だけにとらわれないようまた、こだわりすぎないように、自然に子どもと関わっていけることが目標です。

・包括的性教育を「生命の安全教育」+ α で埋め合わせていく必要があると感じました。

・今まで狭いところで性教育を考えていたが人間まるごと、体を学ぶことで自己肯定感を持つことが大切と思った

・生きる上での大切なことだと思いました。特別なことと考えず、日常生活の中で取り組むことができ、又そうすべき。

・子の将来のため、真剣に向き合っていきたいです

・国際的なガイダンスが出ているようですが、もっとわかりやすいもの(親向け、学校向け)が必要だし、教育プログラムを県が体系的につくる時機ではないか

・色々な場面、人生の局面について密接に関わっていることを再認識した。黒坂さんのお話の中で乳幼児期からの性教育の大切さ日々の関わりの中でこそ伝えられるといわれたことに共感した。実践者からの学び大切

・4つのゾーンを守ることが中心でしたが人として考えるいのち、自分を守る相手を守ることが大切。

2) 今後の課題

・思いがけない妊娠で苦しむ子どもたちがいないのか、今後の対策のために現状を知りたい。

・若い人の意見を聞く機会が必要。

・学校教育の中でしっかり位置づける必要。

・子どもの性の問題の実態の把握。

・性教育について否定的な人々の背景について研究することも大切か？

・実践報告会、成果発表を毎年企画することが、先生方の励みになる。

・地域での学習に取り入れると良い。

・子ども、青年、成人、高齢者くらいのくくりで「性教育」のお話をするのが大切。

・学校全体でまず教員の性教育の徹底から行うこと。

・保護者の人権教育も大切。人権教育と命の問題必要。

・学校の性教育と家庭での話の連続性をもつために学校での性教育をどのようにどのような内容でしているか知る機会が必要。

・性教育を受けてこなかった大人への学びの場の提供も必要。

・男女共に学ぶべき課題だと思っている。また行政の参加も大切。

・学校だけでなく家庭、地域、公民館など社会全体で取り組むことが大切

・学校、地域、家庭で子どもたちの成長発達により添って共に学んでいく必要。

・「これからの性教育」を実施していくことが必要であり、大切である。

・60代以上の半数であり、若い層への働きかけが必要。

・教員、養護教員、助産師、看護師、保育士、公務員等、意識をもって取組んでいくこと大切。

3) 今後の活用方法

この調査事業から“包括的”性教育は単なる体のことを学ぶというだけでなく、自分・相手の人権を大切に、人生を選んでいく力をつけることであり、今までの性教育では十分でないことが明らかになった。今後は包括的性教育を0歳から年齢に応じつつ教育していくと同時に親、地域でも学ぶ必要があり、また教員がしっかりと学び子ども達に教えられる力をつけることが重要であると分かった。関係機関に包括的性教育の実施の働きかけをすると同時に、連携し必要な研修会等を行っていきたい。

報告者 鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク

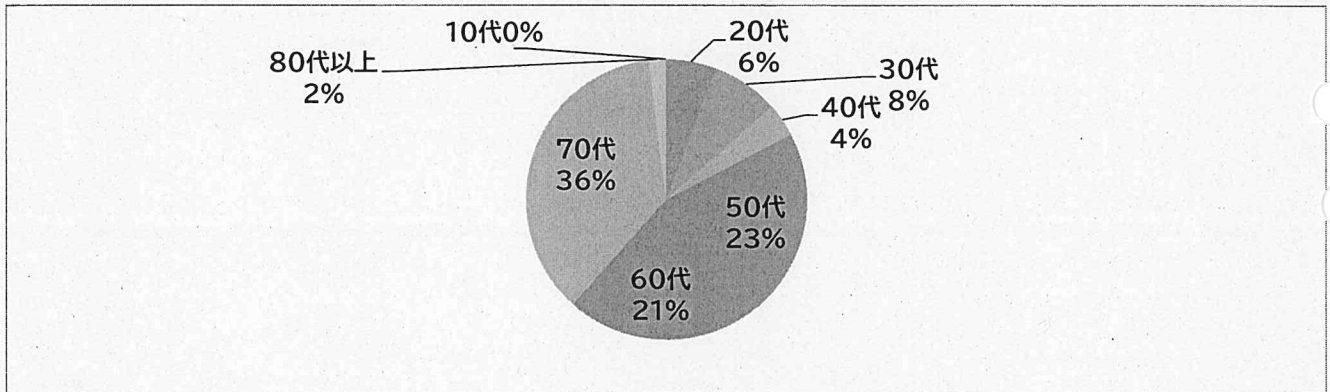
資料

「これからの性教育」参加者アンケート結果

● 研修参加者59名 ● アンケート回答者52名

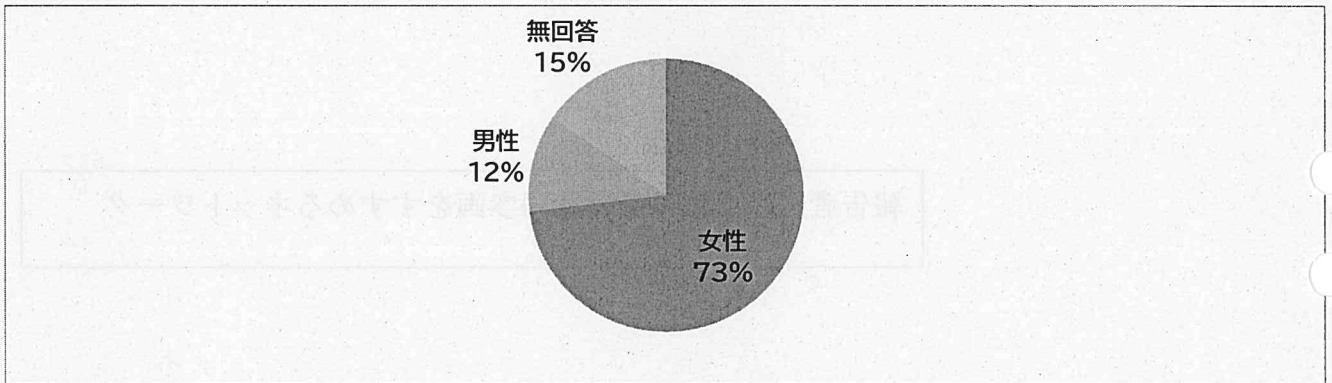
1. 年齢

10代：0名 20代：3名 30代：4名 40代：2名 50代：12名
60代：11名 70代：19名 80代以上：1名



2. 性別

女性：38名 男性：6名 無回答：8名

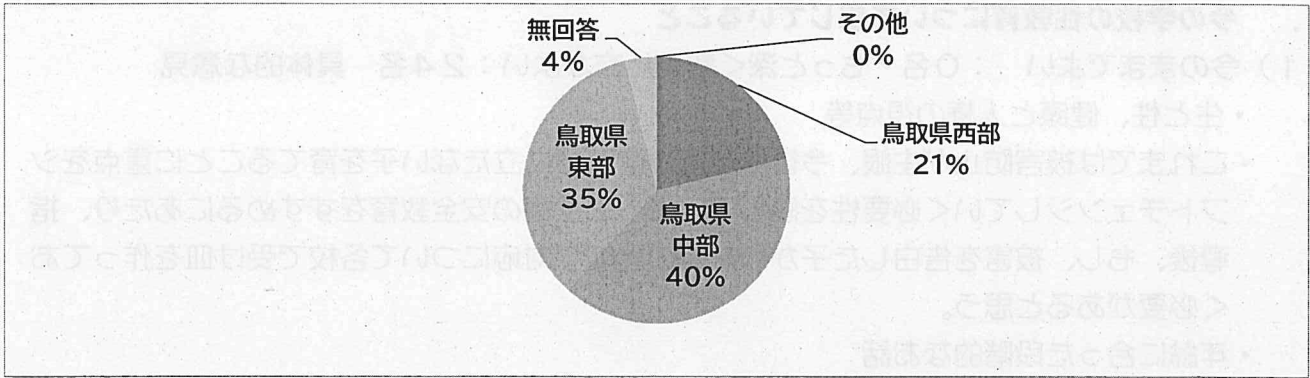


3. 職業、職種 ※複数回答の方あり

無職 11名 公務員 6名 主婦 3名 自営業 3名 団体関連 3名 教員 3名 養護教諭 2名 保育士 2名 看護師 2名 事務職 2名 助産師 1名 県議 2名 市議 1名 農業 1名 無回答 11名

4. 住まい

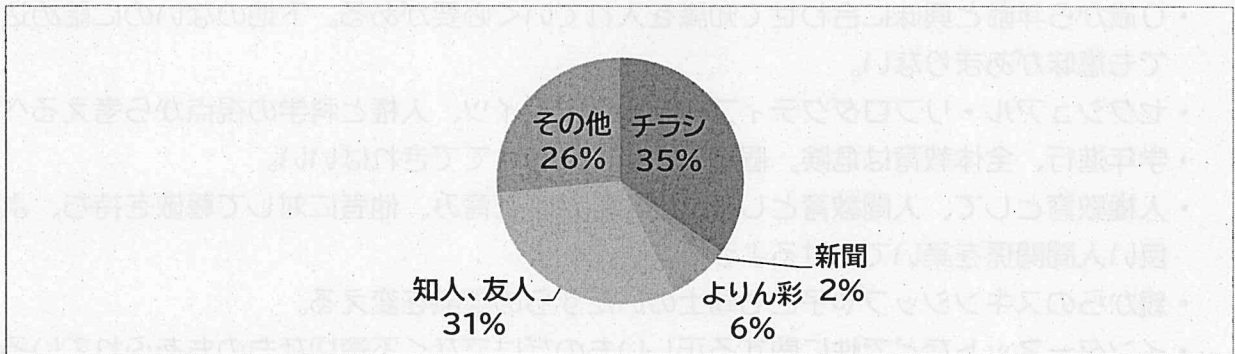
鳥取県西部：11名 中部：21名 東部：18名 その他：0名 無回答：2名



5. 参加のきっかけとなった情報

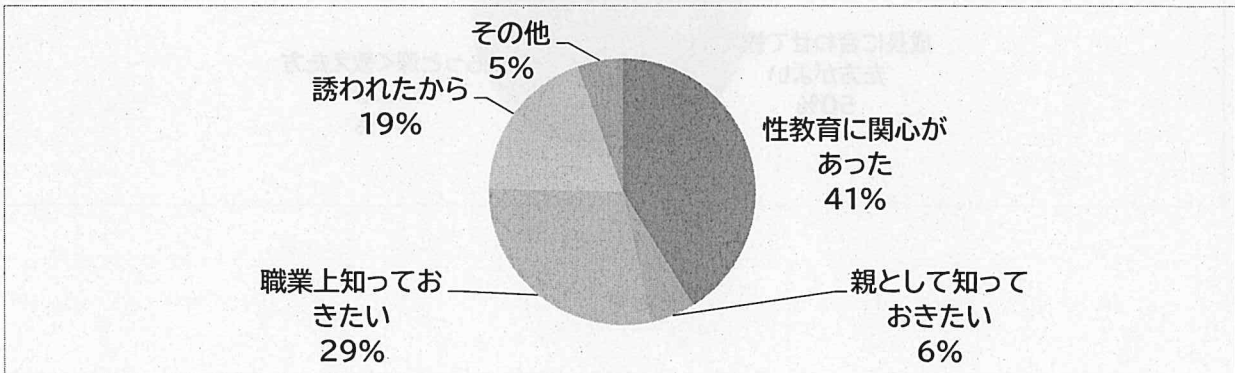
チラシ：17名 新聞：1名 よりん彩：3名 知人、友人：15名

その他：13名 (主催団体からの広報 6名 職場・団体・組合からの広報 6名 講師 1名)



6. 参加しようと思った理由 (複数回答可)

- ・性教育に関心があった：30名
- ・親として知っておきたい：4名
- ・職業上知っておきたい：21名
- ・誘われたから：14名
- ・その他：4名
- ・人として、大人として知っておきたい 2名
- ・浅井先生のお話が聞きたかった
- ・性暴力被害者支援センターの充実のため改めて学びたかった



7. 今の学校の性教育について感じていること

1) 今のままでよい : 0名・もっと深く教えた方がよい : 24名 具体的な意見

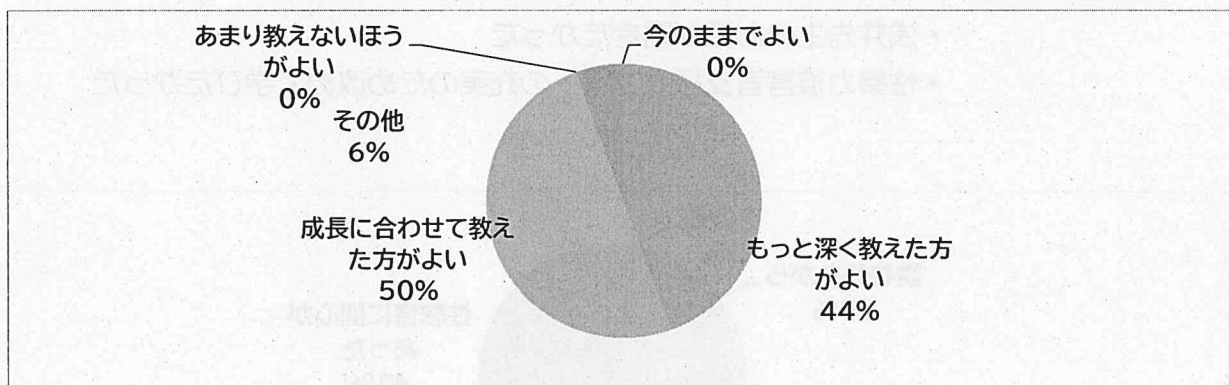
- ・生と性、健康と人権の視点等
- ・これまでは被害防止が主眼、今後は加害や傍観側に立たない子を育てることに重点をシフトチェンジしていく必要性を感じる。さらに生命の安全教育をすすめるにあたり、指導後、もし、被害を告白した子がいた時の適切な対応について各校で受け皿を作っておく必要があると思う。
- ・年齢に合った段階的なお話
- ・先生が学ぶ機会が必要と強く思います。
- ・自分や男女の身体を知り、大切にすること
- ・SRHR (セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ)
- ・性暴力

2) 成長に合わせて教えた方がよい : 27名 具体的な意見

- ・「人として生きる」を柱に。
- ・0歳から年齢と興味に合わせて知識を入れていく必要がある。下地のないのに詰め込んでも意味があまりない。
- ・セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ、人権と科学の視点から考えるべき
- ・学年進行、全体教育は危険。個別の成長に合わせてできればいい。
- ・人権教育として、人間教育として、自己肯定感を育み、他者に対して尊敬を持ち、より良い人間関係を築いていけるように
- ・親からのスキンシップや子ども同士のいたずらの認識を変える。
- ・インターネットなどで性に関する正しいものだけでなく不適切なものもあふれている。危険性も学校や地域が先手を打って教えていくことが大切だと思う。

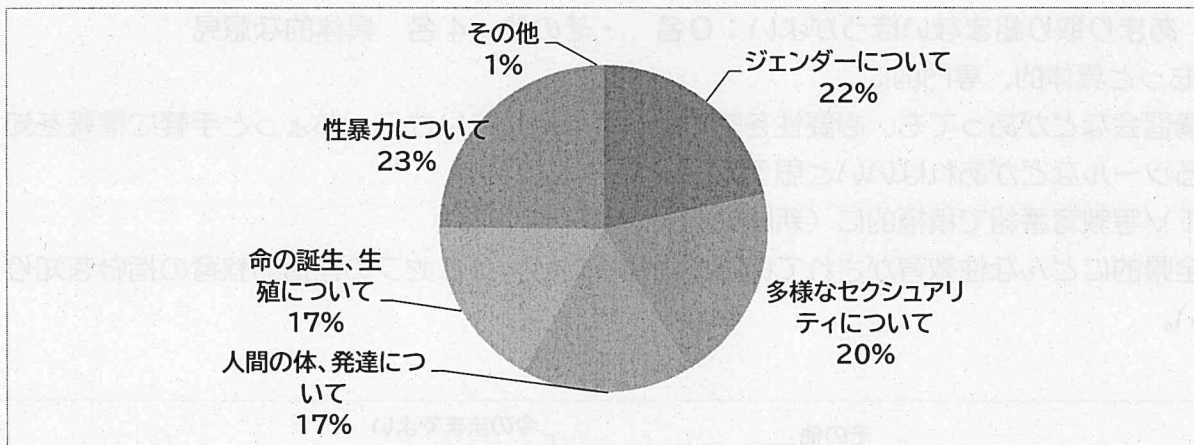
3) あまり教えないほうがよい : 0名 ・その他 : 3名

- ・今の学校の性教育について知らない。
- ・現状に合わせて教えた方がよい。(子どもたちを取りまく社会情勢なども)



8. 学校の性教育に期待する内容やテーマについて

- ・性暴力について：36名
- ・ジェンダーについて：33名
- ・多様なセクシュアリティについて：30名
- ・人間の体、発達について：26名
- ・命の誕生、生殖について：26名
- ・その他：2名
 - ・月経教育は男女一緒に
 - ・先生になられる人々への教育に入れて取り組んでほしい
 - ・学校教育に盛り込みすぎている状況もあるので検討すべき



9. 今の家庭・地域での性教育について

①今のままでよい：2名 具体的な意見

- ・大人がもっと関心を持って学ぶ方がよい

②もっと取り組みがあったほうがよい：20名 具体的な意見

- ・内容も大事だが、性について語ることはタブーではないという認識を持てるよう多くの機会があれば良い
- ・小さい年齢のうちから家庭で養育者が行えるもの。

例：意識にとどめられるようなお話し会。今回の黒坂さんのようなことができるといい

- ・それぞれの立場（教員も）のできる範囲で
- ・教員に学んでほしい
- ・学校でも、地域でも、様々な年代が学ぶべき
- ・妊娠について、プライベートゾーン
- ・学校へ外部からどんどん講師を入れて先生も一緒に学ぶ
- ・現役で子育てをしている世代にどう関心を持ってもらうか、取り組みに参加してもらえるかが重要に思います。

③親や地域の人々が学べる場がほしい：34名 具体的な内容

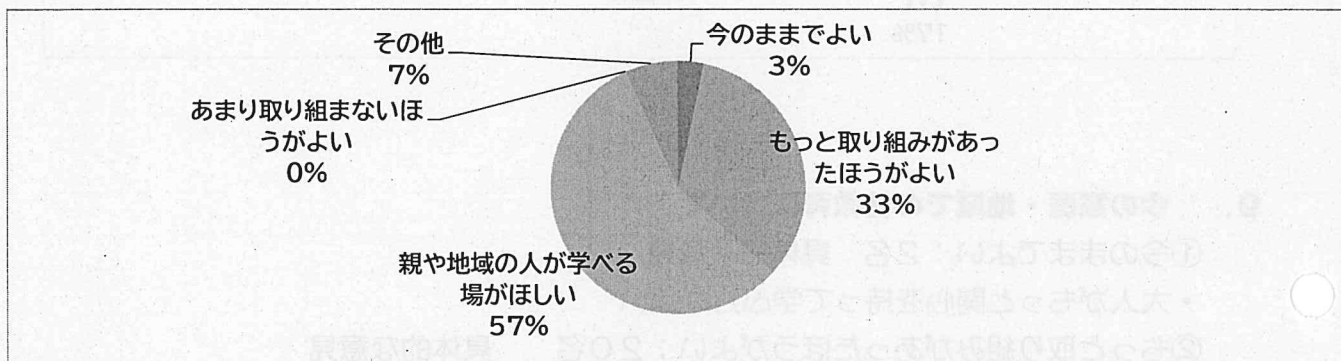
- ・社会人向けサークルで性的トラブルが起きた時の対処方法、相談機関、予防策を学ぶ場が欲しい

- 命を大切にする教育を
- 親世代へ子に対する家庭での性教育
- 公民館活動
- P T A役員会（今日のような実践発表者の方の講演など）
- 特に年配の方の意識を変えられるもの
- 性について基本的な事（ジェンダーについて）
- 2回くらい講演会など（聞いて家庭で話ができるような内容）
- 大人世代、より古い世代の意識改革が必要
- 必要な性に関する情報は社会の変化によって変わっていくから最新の情報を発信してい

く

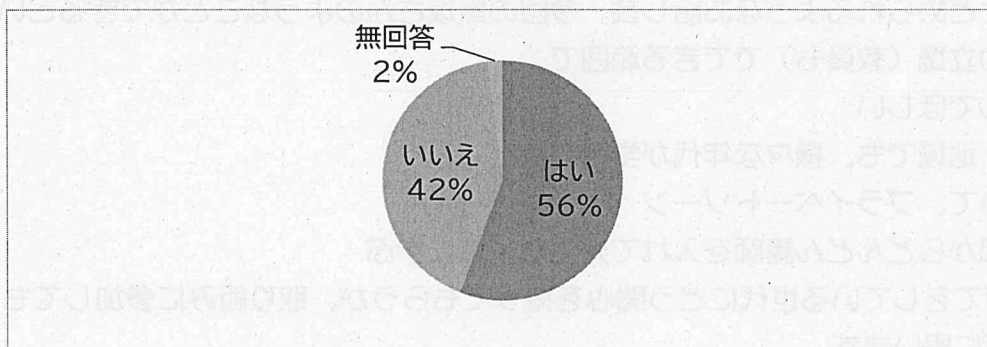
④ あまり取り組まないほうがよい：0名 ・その他：4名 具体的な意見

- もっと具体的、専門的に
- 講習会などがあっても、必要性を感じないと参加しないから、ちょっと手軽に情報を知るツールなどがあればいいと思う
- T V等教育番組で積極的に（新聞でも）
- 全県的にどんな性教育がされているのか知りたい。ユニセフの包括的教育の指針を知りたい。



10. 「包括的性教育」の名称は、聞いたことは

はい：29名 いいえ：22名 無回答：1



これからの性教育研修についてのアンケート

本日は研修にご参加いただきありがとうございました。今後の活動などの参考にしたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

◆答えられる範囲でお答え下さい。該当する項目を○で囲んでください。

答えたくない項目がありましたら、記入無しで構いません。

1. 年齢【10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上】
2. 性別【 】
3. 職業、職種【 】
4. お住まい【鳥取県西部・鳥取県中部・鳥取県東部・その他()】
5. 参加のきっかけとなった情報
【チラシ・新聞・よりん彩・知人、友人・その他()】
6. 参加しようと思った理由(複数回答可)
・性教育に関心があった ・親として知っておきたい ・職業上知っておきたい
・誘われたから ・その他()
7. 今の学校の性教育について感じておられることについてお聞かせください。
・今のままでよい(具体的には:)
・もっと深く教えた方がよい(具体的には:)
・成長に合わせて教えた方がよい(具体的には:)
・あまり教えないほうがよい(具体的には:)
・その他)
8. 学校の性教育に期待する内容やテーマはありますか。(複数回答可)
・ジェンダーについて ・多様なセクシュアリティについて
・人間の体、発達について ・命の誕生、生殖について
・性暴力について ・その他()
9. 今の家庭・地域での性教育について感じておられることについてお聞かせください。
・今のままでよい(具体的には:)
・もっと取り組みがあったほうがよい(具体的には:)
・親や地域の人が学べる場がほしい(具体的には:)
・あまり取り組まないほうがよい(具体的には:)
・その他()
10. 「包括的性教育」の名称は、聞いたことがありましたか。【 はい いいえ 】

裏面もあります

11. 「包括的性教育」の内容について、どう思われましたか。

[Blank response area for question 11]

12. 本日の会で感じたこと、気づいたこと等ご自由にお書きください。

[Blank response area for question 12]

13. 今後、性教育に関する内容で、取り上げてほしいことがありましたら、お書きください

[Blank response area for question 13]

最期までご協力ありがとうございました。

子どもを守る・みんなを守る これからの性教育 2024年2月25日開催
鳥取県男女共同参画をすすめるネットワーク